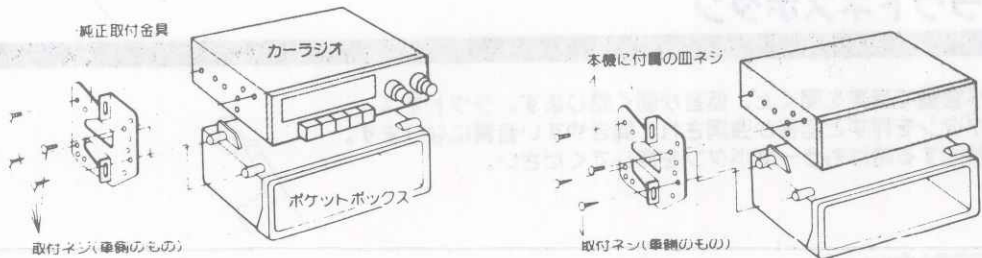


このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
 本品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、
 ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
 お読みになった後は、大切に保存してください。万一ご使用中
 わからないことや不具合が生じたとき、必ずお役に立ちます。

取付け方法 (例)

1. 純正取付け金具を外して下さい。
外したボルトは紛失しないように。
 2. カーラジオの位置に本機を付属の皿ネジ (4x6mm) で固定してください。
側面の取付け穴は、各車種によって取付け位置が異なるため、数種類の穴を開けてあります。本機の前面がちょうどよい位置になるように純正金具の位置を合わせてください。
- * 車種によっては、純正金具の突起物が本機に当たることがあります。
 不要な突起物はハンマー等でたたき、平坦にしてから取付けてください。

1) 皿ネジ (M4 × 6 mm) 4個

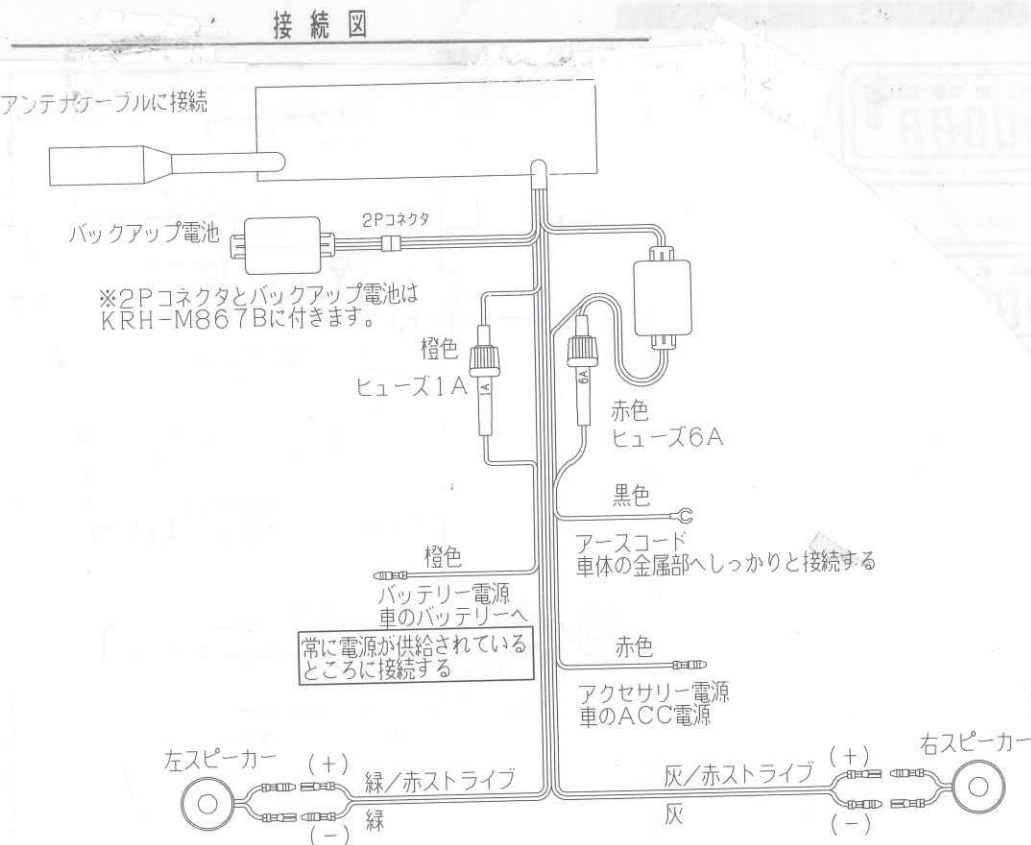


- 付属ネジ
- 1) タッピングネジ (M4×6mm)×4
 - 2) タッピングネジ (M5×6mm)×4

注意) カースtereo本体には表示されている長さのボルト以外使用しないでください。
 本機は出来るだけ水平に取付けてください。

配線方法

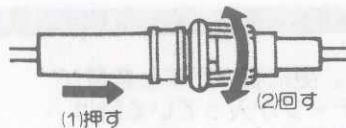
ご注意
 使用するスピーカーは最大入力14W以上4~8オームであることを確認してください。
 左右のスピーカーのマイナス側を共通にしたり車体にアースするとカセットステレオを破壊することがあります。必ず左右別々に配線してください。
 車に既存のスピーカー配線は、故障の原因になります。使用しないでください。
 本機のスピーカーリードを、誤ってバッテリー等の電源リードに接続すると、本機を破壊する事があります。



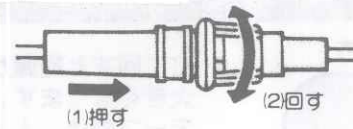
ヒューズ交換 / 日常のお手入れ

ヒューズが切れたときには、図のようにヒューズホルダーを開け、両方の端子から抜き取り、新しいヒューズと交換してください。
 所定のヒューズ以外は使用しないでください。

1 アンペア



6 アンペア

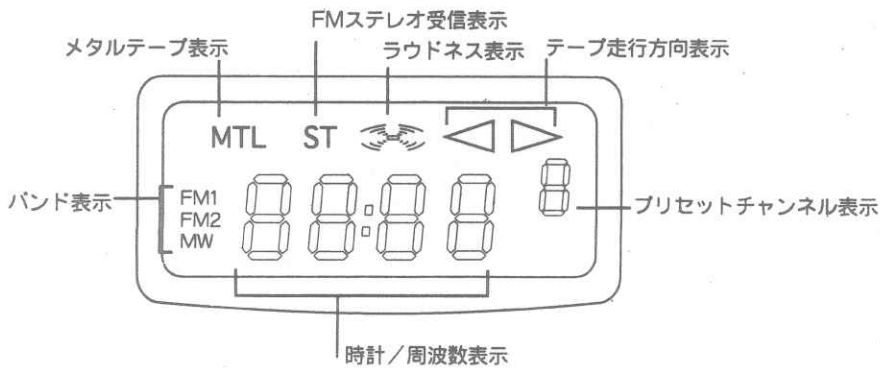
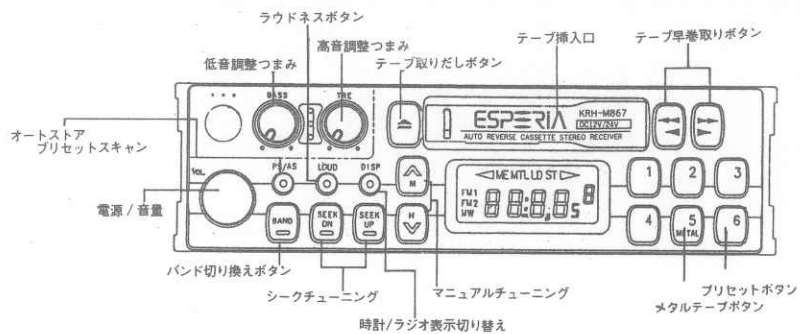


- パネル面の清掃
乾いた柔らかい布でふいてください。
ペンジン/シンナー/化学ぞうきん等は絶対に使用しないでください。
- ヘッドの清掃
ヘッドが汚れますと音質の低下、などの原因になります。定期的に清掃を行なってください。

使用上の注意

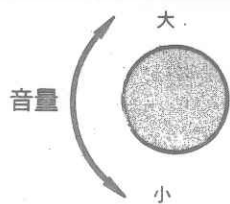
- 運転中の音量に注意
事故防止の為、車外の音が聞こえる程度に音量を調節してお聞きください。
- 高温・低温に注意
極端に暑いときや寒いときは、車内を過温にしてからご使用になりますとよりよい性能が得られます。
- 水は禁物
水がかかると故障の原因になります御注意ください。
- テープのたるみを取りましょう
たるんだまま使うと巻き込みなどの原因になりやすいのでご使用をさけてください。
- 磁気は禁物
本機やカセットテープに磁気を帯びたものを近づけると、ヘッドに磁気を帯び性能を損なったりテープの音を消してしまうことがあります。
- 放熱作用について
大出力で長時間鳴らし続けると、放熱作用でキャビネットが部分的に高温になることがあります。故障ではありません。このようなときはキャビネットに触れないよう御注意ください。

各部名称



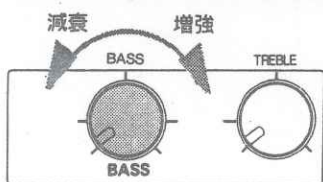
取扱方法 (カセット操作方法)

電源/音量



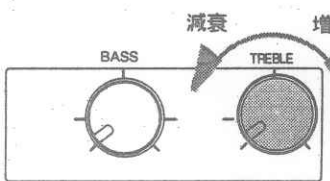
右に回すと電源がONします。更に右へ回すと音量が大きくなります。カセットテープが入っている時はテープ動作、入っていない時はラジオの状態になります。

音質調整つまみ



OBASS (低音)

低音調整つまみで低音部をお好みの音量に調整します。通常は中央の位置にしておきます。右にまわすと増強、左にまわすと減衰します。



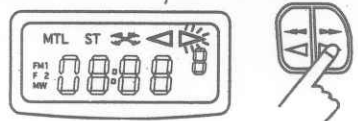
OTREBLE (高音) 調整

高音調整つまみで高音部をお好みの音質に調整します。通常は中央の位置にしておきます。右にまわすと増強、左にまわすと減衰します。

テープ早巻取りボタン/テープ取りだしボタン (基本操作)

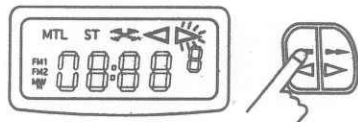
(早送り)

テープ走行方向表示が点灯している方の矢印と同じ方向のボタンをロックするまで 押します。

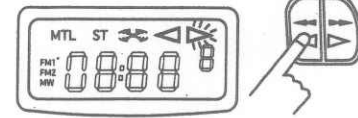


(巻戻し)

テープ走行方向表示が点灯している方の矢印と逆方向のボタンをロックするまで 押します。



(早送り) (巻戻し) を中止するには、押し込まれているボタンと逆のボタンを軽く押します。



演奏面を変えるときは、2つのボタンを同時に押してください。演奏面が変わると同時にテープ走行表示の点灯もかわります。本機はオートリバースメカを使用していますので、テープ再生あるいは早巻取りでテープが終端まで巻取られると、自動的にテープ走行が変わり、反対面のプログラムが再生されます。テープをいたままにしておきますとA面B面を繰り返し演奏を続けます。



テープ演奏を停止する際に奥まで押して下さい。テープが排出されラジオの状態になります。テープを聞かないときはカセットを抜きとってください。



ラジオ操作と時計の操作

マニュアルチューニング

手動にて選曲を行います。TUN+ボタンを押すと受信周波数が高く、TUN-ボタンを押すと低くなります。ボタンを押し続けていると早いペースで周波数が変化します。



シークチューニング

SEEK UP ボタンを押すと自動的に周波数が高いほうに、SEEK DN ボタンを押すと低いほうに変化して放送をさがします。受信可能な放送があると、その周波数で停止して継続受信します。



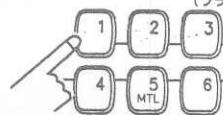
バンド切替

受信周波数帯を変更する時に押します。
* FM1/FM2/MW (AM 放送バンド)



プリセット・ボタン

メモリーされた放送周波数を、1-6のボタンで単独に呼び出し、受信することができます。1-6のボタンはFMおよびAM共用で18局 (FM12局、AM6局) の放送をセットできます。



マニュアルメモリー

メモリーしたい放送局をマニュアルチューニングボタンかシークチューニングボタンで選局します。周波数表示中にメモリーしたい番号 (1-6) を約2秒間押しつづけます。このチャンネル表示され 登録が終了します。



プリセットスキャン/オートストア

プリセットスキャン

ラジオ受信中にこのボタンを押すと現在受信中のバンドにプリセットされている放送局を1番から6番まで5秒間づつ放送します (その際ボタンを押す時間は2秒以内です) お聞きしたい局が受信したところでもう一度このボタンを押してください。プリセットスキャンの作業を終了して通常の放送に切り替わります。

オートストア

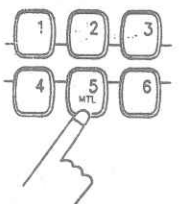
ラジオ受信中にこのボタンを2秒以上押し続けると現在受信中のバンド内の放送を自動的に探してその周波数をプリセットメモリーに記憶します。この動作中、表示部の右側のチャンネル表示が変化します。これは各メモリーチャンネルに記録を表わします。

注) チャンネル表示がフラッシング中はオートストア機能は使用出来ません (フラッシング中はプリセットスキャン中です。)



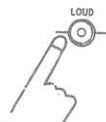
メタルテープボタン (プリセットボタン5番と共通です)

使用するテープの種類によって使い分けてください。メタル/クロムテープ使用時は、ボタンを押してください。表示部にMTLが表示されます。解除する時はもう一度ボタンを押してください。



ラウドネスボタン

小音量で音楽を聞くと、低音が弱く感じます。ラウドネスボタンを押すと低音が強調されて聞きやすい音質になります。解除する時はもう一度ボタンを押してください。

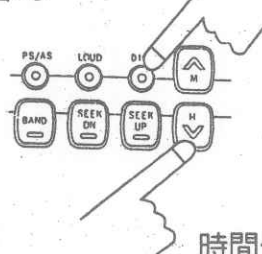


時計セット

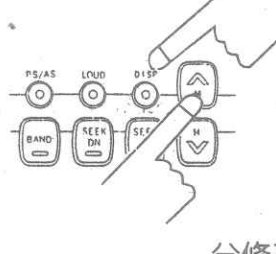


表示切り替え

DISPボタンを押すとラジオ/テープ表示と時刻表示の切り替えを行います。時刻修正は時刻表示の状態で行えます。DISPボタンを押しながらTUNINGボタンの下側 (H) を押すと時間、上側 (M) を押すと分の時刻修正が行えます。



時間修正



分修正

仕様

(ラジオ部)

受信周波数 AM (MW) 522-1629KHz
FM 76-90MHz
実用感度 AM (MW) 10μV(MAX)
FM 3μV
S/N: FM 62dB
AM 45dB

(テープ部)

トーン BASS: ±8dB(100Nz)
コントロール TREBLE: ±8dB(10kHz)
S N 比 50dB
クロストーク 45dB
テープ速度 4.75cm 秒

早送り時間 100秒(C-60)
巻戻し時間 100秒(C-60)
ワウフラッター 0.15% WRMS
使用テープ カセットテープ(フィリップスタイプ)

(共通部)
電源電圧 直流12V-24V
マイナス(-)アース

最大出力 14W(出力インピーダンス4Ω)
形状 178(幅)×50(高さ)×150(奥行)
(埋込み形状)
付属品 取付金具一式